

# 12月村小だより

発行 平成29年12月21日

【学校教育目標】

「自らを磨き ふるさとを創る たくましい子どもの育成」

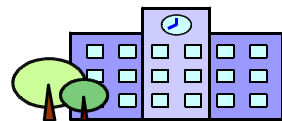
## 学校版教育環境会議アンケート結果のお知らせ

11月21日(火)に参観日(43名参加)、給食試食会(8名参加)、教育環境会議(29名参加)を開催しました。お忙しいところ多数参加していただきありがとうございました。教育環境会議に参加していただいた29名の方からアンケートに回答をいただきました。

本年度の特徴は、今すぐ統合して欲しいという方が8名と増えたことあげられます。書かれている意見も村岡区の将来を見通した前向きなご意見であると思われました。統合については国が平成27年に通知を出しています。その通知に従って、現在全国的に統廃合が進められています。その内容は、適正規模(12~18学級)と適正配置(通学条件は小学校で4キロメートル)が望ましいというものです。適正配置は、バスを利用する場合には片道60分以内が望ましいとなっています。これを香美町に当てめれば、香住小学校だけでよいということになります。この通知の中では、機械的に統廃合をするのではなく、発達段階、保護者のニーズ、通学路の安全確保、統合によるメリット、通学時間が長くなるデメリットなど全体的に勘案して学校の適正配置をするように求めています。香美町では地域による主体的検討を学校版教育環境会議で行っています。基本的には小学校と幼稚園を地域に残す方針であり、参加者の3分の2以上の賛成がなければ統合は考えないことになっています。今後ともたくさんの方に参加していただき、よりよい幼・小学校の教育についてご意見を頂きたいと思っております。またその中でご意見が出れば3校統合がいいのか4校統合がいいのかなどを含めて、統廃合のご意見をお聞きしていきたいと考えています。もちろん村岡幼稚園と村岡小学校は、地域に信頼され、「人数が少なくてもぜひ残して下さい!地域に必要です!」と言ってもらえる学校を目指して全力で頑張ります。

1 地域の学校園として、地域の皆さんの協力が欠かせませんが、今後、どのようなお気持ちで関わっていきたく思いますか。

- (1) 「自分たちが支えていく」という強い意志で積極的に関わっていきたく。 5人
- (2) できることは、関わっていきたく。 24人
- (3) 関わりたくない。 0人
- (4) 分からない。 0人



2 本日の学校版教育環境会議に出席し、小学校の学校統合についてどのように思いますか。

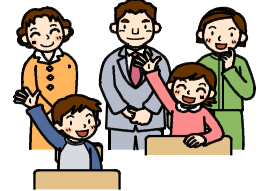
- (1) 今後とも、地域の学校園として村岡小学校の存続を希望する。 19人
- (2) 今すぐ、学校統合を希望する。 8人
- (3) 分からない。 2人

3 会議に出席されてお気づきの点や、その他ご意見があればお聞かせ下さい。

- いつも細やかに心配りをいただきありがとうございます。子どもの数が今後ゆるやかにでも増えるのなら現在のままが理想的だと思いますが、少子化が進んでいる現状を思うと、統合も視野に入れる必要もある

のかなと感じています。そう考えると、香美町の人口が増えるような町づくりを大切にしていかなければと思いました。できるだけ多くの角度から考え、知恵を出し合っていけたらと感じています。

- 統合については、今年の村岡の出生数は5、6名です。今3校あるクラスで1人とか2人しか1学年にいないようなことになる。それが目前まで来ている。早急に統合しないと、今後心配でなりません。人口が増える予定があれば別ですが減少は避けられません、残すことに無理をしないで統合して欲しい。先延ばしにしない。
- 少子化が進む中で統合も考える必要があるように感じています。
- 現状の村岡区3小学校を存続するのは難しいと思います。今の保育園児の数、生まれた子どもたちの数、今後は一つの学年一桁です。1年でも早い統合が望ましいと思います。よい伝統は統合しても必ず引き継がれていきます。
- 子どもの将来を考え、様々な観点で指導して頂きありがとうございます。今はよいが、現在の保育園児はもう少数過ぎます。統合は必要だと思います。
- 子どもたちのために色々と取り組んでくださっていることが分かりました。とても感謝しております。
- ふだん見ることのない学校の取り組みを教えてくださいありがとうございます。
- 幼小の取り組みを聞いてよく取り組んでいると思います。先生、子どもの生き生きとした姿は良いですね。これからも今のままの学校であって欲しいです。
- 校区が広がるということは子どもたちにとっても大変だと思います。今のまま、少人数でも丁寧に関わって頂ける環境を希望します。
- 子どもたちの生き生きとした姿がよく見られました。なにより笑顔いっぱいでした。これからも続けて頂きたい。
- 分かりやすかったです。

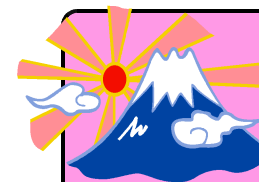


## 今後の村岡小学校の教育に思うこと

村岡小学校の校長室には、昭和43年の村岡小学校三校統合記念の写真が飾られています。石井が小学校3年生の時です。村岡高校の同級生がたくさん写っています。およそ200名の児童が写真に写っているのですが50年間で半分以下の8名になりました。統廃合の問題は今に始まったことではなく、過疎地域である村岡区は半世紀以上統廃合問題に向き合って教育を考えています。

### 「子どもにとって一番良い教育は何であるか！」

統廃合問題を考えるときに大切なことは、村岡の子どもたちにとって一番良い教育は何であるかを忘れないことです。今年、松坂市の教育委員会が香美町のチャレンジプランを見学に来られました。統合ではなく、地域に学校を残して、きめ細かな質の高い教育を提供したいので、チャレンジプランを学びに来ましたということでした。来年度からすぐに実施したいので理論ではなく実質的なやり方を教えて下さいと言っておられました。その他にも全国から4年間で10校ほど香美町の見学に来られています。そういう意味では、香美町の教育は日本の最先端を走っているのです。日本一の米、日本一の但馬牛、日本一のカニ、多くの日本一がある香美町に誇りと自信を持って、子どもたちを育てていきたいと考えています。村岡小を地域の学校として残し、地域の教育の核になりたいと願っています。



平成29年は村小にとって素晴らしい年でした!

子どもたちが元気に学校生活を送ることができました。子どもたちが大きく成長しました!ご協力ありがとうございました。平成30年もよろしくお願いたします。!職員一同明るく楽しく元気よく頑張ります!文責 校長 石井一彦